

## ■ クラブフォーラム ロータリー財団委員会担当

ゲストスピーカー 地区ロータリー財団統括委員会地区補助金プロジェクト委員会 清水 隆 委員長

ロータリー財団には、①人々の健康状態を改善し ②教育への支援を高め ③貧困を救済する事を通じて「世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」の使命があります。その使命の内容を理解するのが難しいので私などは、シンプルに「世界で良い事をしよう」と考えています。世界規模、日本国内、地区、しいては、各クラブで、良い事をしよう。と思うようにしています。

着目するテーマで ロータリー観が変わってくるのではないのでしょうか？日本のロータリーは奥が深く複雑すぎて、説明と理解をするのが難しいと私は思います。シンプルに、「世界で良い事をしよう」を中心に据えてからは、ロータリーの繋がりが少しずつ見えてきました。そして、分区、地区、全てのロータリアンとの交流を持つ事です。良い悪いは別として、ロータリーは奥が深く、複雑だからこそ、情報の共有が必要となり、共有の中から見えて来るものがあると思います。

世界で良い事をするには、奉仕事業をする。奉仕事業にはお金が掛る。では事業資金を集めるには・・・寄付をお願いする・・・奉仕活動がおこなえる。という流れになります。これは私の考えでございます。

R I は、奉仕の理念・奉仕活動を押し進めます。R財団はR Iの奉仕活動資金を集める事が一番の目標となっております。この流れから、地区R財団委員会では、83クラブに寄付のお願いは致します。ですが各クラブの奉仕活動資金のサポートも考えております。

基本的には、奉仕事業のサポートは奉仕プロジェクト委員会が担当になります。R財団は資金管理となりますが、地区活動資金の運用方法などのご説明はいたします。

「地区補助金」は、各クラブが、奉仕事業を実施するに当たり、色々な諸問題が出て来るのは判ります。その諸問題の中で最も重要となる資金をサポートする為の「運転資金」として考えて下さい。各クラブからのご意見として

- 1、予算が余りないので実施するのがむずかしい。
- 2、継続事業を行なっているので、新規事業をする必要がない。難しい。
- 3、地区補助金が難しい、解らないなどがございました。

今のような諸問題などから、奉仕事業を実施するクラブが年々減って来ているのが現状となって来ています。このままですと、ロータリークラブは、奉仕の理念だけになってしまいます。財団では、各クラブが奉仕活動に取り組みやすい状況を踏まえ、地区補助金プログラムを押し進めています。財団活動資金を上手く利用して、クラブの負担を減らした奉仕事業から実施できる様をお願いいたします。例としてゴミ拾い、清掃、献血、クラブの専門職を活かした事業、教育など余り資金の掛らない事業であり、多くのロータリアンが参加しやすい。事業となります。

「地区補助金」の始まりは、2013 - 14年度（関口年度に）R Iからの「未来の夢計画」の指標により、地区R財団の試みとして、R財団が抱える多くのプログラムを一括整理し解り易い活動方針を定めました。地区財団活動資金（DDF）による4つのプログラムにまとめられました。その1つが地区補助金です。地区R財団委員会は2790地区と全てのクラブがより良いクラブになる為の奉仕活動資金として、地区補助金の活用をお願いいたします。

地区補助金の財源は3年前の皆様からの寄付金です。逆に言いますと、今年度皆様からお預かりした年次基金寄付は3年後に地区へ戻されます。これがシェアシステムです。簡単にご説明しますと、3年前の年次基金寄付と、恒久基金の運用益が、シェアシステム対象額となります。地区財団活動資金（DDF）50%と国際財団活動資金（WF）50%に振り分けられます。地区財団活動資金（DDF）に、前年度繰越金に加算され、地区補助金・グローバル補助金・ポリオプラス・平和センター4つのプログラムに振り分けられます。

地区での地区補助金を利用しての奉仕活動は、83クラブ中、約50%近くに達してきました。今後はすべてのクラブから地区補助金申請が挙がるよう枠を広げていきたいと考えています。そのために財団委員会は、各クラブに寄付をお願いするにあたって、財団委員会の財務報告、寄付金の使途などを明確に行い、各クラブが財団の活動を理解して頂いた上で寄付をつのり、各クラブが地区補助金を使用して、より内容の濃いプロジェクトを実施することで、各クラブの活性化に繋がればと考えています。その為には各クラブより、多くの年次基金寄付をお願い申し上げることがロータリーの発展に繋がりますのでよろしくお願い致します。

申請の流れをご説明します。

地区補助金は、地域社会または海外でR財団の使命に添った、短期（単年度）の事業を実施する為に活用できる資金でございます。グローバル補助金は継続年度となりますのでDDF、WFを使っての奉仕事業の実施となります。

- ・クラブからの申請方法や期日など、地区独自の手続きと方針を決めています。

第2790地区ではMOU締結（参加資格）と補助金管理セミナーへの出席を追加要件として義務付けています。

- ・【クラブの参加資格認定】は地区が決定し、有効期限が1ロータリー年度です。従ってロータリー地区補助金を申請しようとするクラブは、毎年度この認定を受ける必要があります。
- ・地区補助金は、R財団の使命に関連するプロジェクトで、ロータリアンが積極的に参加するものでなければなりません。

